

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人ひらきの里 多機能型事業所子ども通所サービスあぼろ(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和6年12月20日		～ 令和7年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和6年12月20日		～ 令和7年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との共通理解を図れている	送迎時に可能な限り、その日の療育でのご様子や振り返りの時間を確保して、口頭にてお伝えしている。	送迎時にお伝えできなかった療育の様子や相談事があれば、面談の時間を別途確保するように努める。
2	子どもが通所を楽しみにしてくださっている	スタッフが特性を理解して、子どもに合わせた支援を実施している。 子どもが理解できるスケジュールの提示や、コミュニケーションをとりやすいような視覚的支援の実施。	集団においての支援の充実化。(小集団活動での楽しみやルール、順番などの視覚的な支援)
3	ガイドラインに沿った支援の提供 「本人支援」「家族支援」「移行支援」	研修を通してスタッフの専門性を高める。 本人支援、家族支援、移行支援それぞれの内容を基に個別支援計画を立案している。	研修の継続。 特性に合わせた理解しやすい個別支援計画の立案。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害発生時を想定した訓練等の実施	訓練は実施しているが、保護者への周知が徹底されていなかった。	訓練の日程を保護者へ分かりやすいように掲示し周知する。(写真の添付等)
2	地域との行事	法人の行事への案内は行っていたが、近年は感染症の影響より内部開催となっていたため参加していただけない状況であった。	今後法人の行事が地域に開かれた開催の場合は周知し、参加を促す。 地域のこども園等と合同で開催が可能なイベントについて検討する。
3	保護者同士の交流の場	近年は感染症の影響により開催ができていなかったため周知ができていなかった。 今年度開催したが、直前でのお知らせとなったため周知が不足していた。	来年度は早期に計画を立案し、周知を徹底する。